

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1 一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

2-3 加算率・補正係数  
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.4 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様	適用基準	記号	備考
加算率 施工規模	標準	S <sub>0</sub>	全体数量
	1工事の施工規模が、標準より小さい場合(実線15cm換算)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。ただし、区間線消去(ウォータージェット式)の施工規模が標準より小さい場合(実線15cm換算)は、一式価格を適用する。	S <sub>1</sub> S <sub>2</sub> S <sub>3</sub>	
	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	
	夜間作業	K <sub>2</sub>	
補正係数	区間線の線布厚が1.0mmの場合	K <sub>3</sub>	対象数量
	排水性舗装に施工する場合	K <sub>4</sub>	
	未供用区間の場合	K <sub>5</sub>	
	ペイント式の区間線を消去する場合	K <sub>6</sub>	
	排水性舗装に施工する場合	K <sub>4</sub>	

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.5 加算率・補正係数の数値

区分	記号	区間線設置	区間線設置	区間線消去	区間線消去
		溶解式	ペイント式	削取り式	ウォータージェット式
加算率 施工規模	S <sub>0</sub>	(500m以上) 0%	(2,000m以上) 0%	-	(600m以上) 0%
	S <sub>1</sub>	(100m以上500m未満) 30%	(500m以上2,000m未満) 15%	-	(600m未満) 一式価格適用につき、加算率は適用しない
	S <sub>2</sub>	(50m以上100m未満) 10%	(200m以上500m未満) 30%	-	
	S <sub>3</sub>	(50m未満) 15%	(200m未満) 60%	-	
補正係数	K <sub>1</sub>	1.3	1.15	-	1.3
	K <sub>2</sub>	1.2	1.1	1.35	1.25
	K <sub>3</sub>	0.9	-	-	-
	K <sub>4</sub>	1.2	-	-	-
	K <sub>5</sub>	0.9	0.9	-	-
	K <sub>6</sub>	-	-	-	0.85

(注) 1. 施工規模加算率(S<sub>1</sub>、S<sub>2</sub>)又は(S<sub>3</sub>)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K<sub>1</sub>)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。なお、区間線消去(ウォータージェット式)で一式価格を適用する場合も、時間的制約を受ける場合の補正係数(K<sub>1</sub>)は適用しない。  
2. 区間線設置の施工規模は、溶解式、溶剤型ペイント式、水性型ペイント式それぞれ1工事の全体数量で判定する。

2-3 加算率・補正係数  
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.4 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様	適用基準	記号	備考
加算率 施工規模	標準	S <sub>0</sub>	全体数量
	1工事の施工規模が、標準より小さい場合(実線15cm換算)は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。ただし、区間線消去(ウォータージェット式)の施工規模が標準より小さい場合(実線15cm換算)は、一式価格を適用する。	S <sub>1</sub> S <sub>2</sub> S <sub>3</sub>	
	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	
	夜間作業	K <sub>2</sub>	
補正係数	区間線の線布厚が1.0mmの場合	K <sub>3</sub>	対象数量
	排水性舗装に施工する場合	K <sub>4</sub>	
	未供用区間の場合	K <sub>5</sub>	
	ペイント式の区間線を消去する場合	K <sub>6</sub>	
	排水性舗装に施工する場合	K <sub>4</sub>	

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.5 加算率・補正係数の数値

区分	記号	区間線設置	区間線設置	区間線消去	区間線消去
		溶解式	ペイント式	削取り式	ウォータージェット式
加算率 施工規模	S <sub>0</sub>	(500m以上) 0%	(2,000m以上) 0%	-	(600m以上) 0%
	S <sub>1</sub>	(200m未満) 一式価格適用につき、加算率は適用しない	(500m未満) 一式価格適用につき、加算率は適用しない	-	(600m未満) 一式価格適用につき、加算率は適用しない
	S <sub>2</sub>	(50m以上100m未満) 10%	(200m以上500m未満) 30%	-	
	S <sub>3</sub>	(50m未満) 15%	(200m未満) 60%	-	
補正係数	K <sub>1</sub>	1.3	1.15	-	1.3
	K <sub>2</sub>	1.2	1.1	1.35	1.25
	K <sub>3</sub>	0.9	-	-	-
	K <sub>4</sub>	1.2	-	-	-
	K <sub>5</sub>	0.9	0.9	-	-
	K <sub>6</sub>	-	-	-	0.85

(注) 1. 施工規模加算率(S<sub>1</sub>、S<sub>2</sub>)又は(S<sub>3</sub>)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K<sub>1</sub>)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。なお、区間線設置(溶解式、ペイント式)、区間線消去(ウォータージェット式)で一式価格を適用する場合、時間的制約を受ける場合の補正係数(K<sub>1</sub>)は適用しない。  
2. 区間線設置の施工規模は、溶解式、ペイント式(車載式)、溶剤型ペイント式、水性型ペイント式それぞれ1工事の全体数量で判定する。

②区画線工  
VI-2-②-3

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1 一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁	改定前	改定後(平成29年7月30日以降適用)
②区画線工 VI-2-②-4	<p>ただし、ペイント式(車載式)で、切削オーバーレイ工の完了待ちなどにより、1日当りの施工数量が標準施工規模に満たない場合については、1日当りの施工数量で施工規模を判定する。</p> <p>3. 区画線消去(ウォータージェット式)の施工規模は1工事の全体数量で判定する。ただし、交通規制等の制約により、1日当りの施工数量が標準施工規模に満たない場合については、1日当りの施工数量で施工規模を判定する。</p> <p>4. 排水性舗装に施工する場合の補正係数(K<sub>1</sub>)は、溶融式(手動)による施工及び排水性舗装用に開発された工法・材料等による施工のどちらにも適用出来る。また、ペイント式は舗装の種類に関係なく適用出来る。</p> <p>5. ペイント式の区画線を消去する場合の補正係数(K<sub>6</sub>)は、標準施工規模に満たない場合(一式価格を適用する場合)には適用しない。</p> <p>2-4 直接工事費の算出                  直接工事費=設計単価(注)×設計数量                  (注)設計単価=標準の市場単価×(1+S<sub>1</sub> or S<sub>2</sub> or S<sub>3</sub> or S<sub>4</sub>/100)×(K<sub>1</sub>×K<sub>2</sub>×……×K<sub>6</sub>)</p>	<p>ただし、ペイント式(車載式)で、切削オーバーレイ工の完了待ちなどにより、1日当りの施工数量が標準施工規模に満たない場合については、1日当りの施工数量で施工規模を判定する。</p> <p>3. 区画線消去(ウォータージェット式)の施工規模は1工事の全体数量で判定する。ただし、交通規制等の制約により、1日当りの施工数量が標準施工規模に満たない場合については、1日当りの施工数量で施工規模を判定する。</p> <p>4. 塗布厚1.0mmの場合の補正係数(K<sub>1</sub>)は、標準施工規模に満たない場合(一式価格を適用する場合)には適用しない。</p> <p>5. 排水性舗装に施工する場合の補正係数(K<sub>1</sub>)は、溶融式(手動)による施工及び排水性舗装用に開発された工法・材料等による施工のどちらにも適用出来る。また、ペイント式は舗装の種類に関係なく適用出来る。なお、排水性舗装に施工する場合の補正係数(K<sub>1</sub>)は、標準施工規模に満たない場合(一式価格を適用する場合)には適用しない。</p> <p>6. 未供用区間の場合の補正係数(K<sub>2</sub>)は、標準施工規模に満たない場合(一式価格を適用する場合)には適用しない。</p> <p>7. ペイント式の区画線を消去する場合の補正係数(K<sub>6</sub>)は、標準施工規模に満たない場合(一式価格を適用する場合)には適用しない。</p> <p>2-4 直接工事費の算出                  直接工事費=設計単価(注)×設計数量                  (注)設計単価=標準の市場単価×(1+S<sub>1</sub> or S<sub>2</sub> or S<sub>3</sub> or S<sub>4</sub>/100)×(K<sub>1</sub>×K<sub>2</sub>×……×K<sub>6</sub>)                  &lt;標準施工規模に満たない場合&gt;                  (注)設計単価=一式価格×(K<sub>1</sub>)</p>

②区画線工  
VI-2-②-5

(1) 区画線数量

施工歩掛コード	※B10210	施工単位	m					
施工区分	J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7	J8
各種	①溶融式手動 ②溶融式 ③水性型 ④水性型 ⑤水性型 ⑥水性型 ⑦水性型 ⑧水性型 ⑨水性型	規格・仕様 区分	仕 様	単位	入力番号	条件	補 正	補 正

(注) 1. J1条件で①を選択した場合、J2条件は表4.1から選択すること。  
 2. J1条件で②、③を選択した場合は、J2条件は表4.2から選択すること。また、J6及びJ7条件を入力する必要はない。  
 3. J2条件で表4.1の①を選択した場合の施工量は、所要材料換算量(20%割増)が考慮されているため、塗布面積を15㎏換算した数量を入力する。  
 4. J3条件で②、③又は④を選択した場合は、J4条件は①で固定される。

表4.1 規格・仕様区分(溶融式・手動)

規格・仕様	単位	入力番号
実線・ゼブラ	15㎏	①
	20㎏	②
	30㎏	③
	45㎏	④
破 線	15㎏	⑤
	20㎏	⑥
	30㎏	⑦
	45㎏	⑧
英印・記号・文字	15㎏換算	⑨

表4.2 規格・仕様区分(ペイント式)

規格・仕様	単位	入力番号
溶融型	加熱式15㎏	①
	常電式15㎏	②
	加熱式15㎏	③
	加熱式20㎏	④
水性型	常電式15㎏	⑤
	加熱式16㎏	⑥
	常電式16㎏	⑦
	加熱式16㎏	⑧
破 線	加熱式16㎏	⑨
	常電式16㎏	⑩
	加熱式20㎏	⑪
	常電式16㎏	⑫

(1) 区画線数量

施工歩掛コード	※B10210	施工単位	m				
施工区分	J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7
各種	①溶融式手動 ②溶融式 ③水性型 ④水性型 ⑤水性型 ⑥水性型 ⑦水性型 ⑧水性型 ⑨水性型	規格・仕様 区分	仕 様	単位	入力番号	条件	補 正

(注) 1. J1条件で①を選択した場合は、J2条件で②～④を選択することは出来ない。  
 2. J1条件で②、③を選択した場合は、J2条件で⑤～⑧を選択することは出来ない。  
 3. J1条件で④を選択した場合は、J5及びJ6条件を入力する必要はない。  
 4. J2条件で②を選択した場合の施工量は、所要材料換算量(20%割増)が考慮されているため、塗布面積を15㎏換算した数量を入力する。  
 5. 施工量が溶融式で20㎏未満、ペイント式で50㎏未満の場合は、区画線数量(溶融式20㎏未満、ペイント式50㎏未満)(※B10240)により別途計上する。

表4.1 規格・仕様区分

施工区分	規格・仕様	単位	入力番号
溶融式	実線・ゼブラ	15㎏	①
		20㎏	②
		30㎏	③
		45㎏	④
	破 線	15㎏	⑤
		20㎏	⑥
		30㎏	⑦
		45㎏	⑧
	英印・記号・文字	15㎏換算	⑨
	溶融型・水性型 ペイント式	実 線	加熱式15㎏
常電式15㎏			⑪
破 線		加熱式15㎏	⑫
		常電式15㎏	⑬

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1 一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

②区画線工  
VI-2-②-6

表4.3 施工規模加算

施工規模	入力番号
500m以上(2,000m以上)	①
100m以上500m未満 (500m以上2,000m未満)	②
50m以上100m未満 (200m以上500m未満)	③
50m未満(200m未満)	④

(注) ( ) 書きは、J1条件で②, ③を選択した場合である。

(2) 区画線設置(溶融式200m未満、ペイント式500m未満)

施工歩掛コード	WS810240	施工単位	式
施工区分	入 力 条 件		
	J1	J2	
各 種	施工方法 区 分	夜間作業の 補 正	
	①溶融式手動 ②ペイント式	①無 ②有	

(注)施工量が溶融式で200m以上、ペイント式で500m以上の場合は、区画線設置(WS810210)により別途計上する。

③高視認性  
区画線工  
VI-2-③-2

2-3 加算率・補正係数  
(1) 加算率・補正係数の適用基準

表2.6 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様		適用基準	記号	備考
加算率	施 工 規 模	標 準	S <sub>0</sub>	全体数量
		1工事の施工規模が、標準より小さい場合(実線15cm換算)は対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S <sub>1</sub> S <sub>2</sub>	全体数量
		通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限をする場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>1</sub>	対象数量
補正係数	夜 間 作 業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>2</sub>	対象数量
		未供用区間において施工する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>3</sub>	対象数量

規格・仕様		適用基準	記号	備考
加算率	施 工 規 模	標 準	S <sub>0</sub>	全体数量
		1工事の施工規模が、標準より小さい場合(実線15cm換算)は対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。ただし、リップ式(溶融式)、非リップ式(溶融式)の施工規模が標準より小さい場合(15cm換算)は、一式価格を適用する。	S <sub>1</sub> S <sub>2</sub>	全体数量
		通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限をする場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>1</sub>	対象数量
補正係数	夜 間 作 業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時~6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>2</sub>	対象数量
		未供用区間において施工する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>3</sub>	対象数量

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1 一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.7 加算率・補正係数の数値

区	分	記号	高視認性区画線設置				高視認性 区画線消去 (削取り式)
			リップ式		非リップ式	貼付式	
			溶融式	2液反応式	溶融式		
加算率	施工規模	S <sub>0</sub>	500m以上 0%	500m以上 0%	500m以上 0%	500m以上 0%	—
		S <sub>1</sub>	100m以上 500m未満 15%	100m以上 500m未満 15%	100m以上 500m未満 15%	100m以上 500m未満 5%	—
		S <sub>2</sub>	100m未満 25%	100m未満 25%	100m未満 25%	100m未満 10%	—
補正係数	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	1.15	1.15	1.15	1.05	—
	夜間作業	K <sub>2</sub>	1.10	1.10	1.10	1.05	1.35
	未供用区間の場合	K <sub>3</sub>	0.90	0.90	0.90	1.00	—

(注) 1. 施工規模加算率 (S<sub>1</sub>) 又は (S<sub>2</sub>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K<sub>1</sub>) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。  
2. 施工規模は、リップ式(溶融式)、リップ式(2液反応式)、非リップ式(溶融式)、貼付式のそれぞれ1工事の全体数量で判定する。

2-4 直接工事費の算出

直接工事費=設計単価(注)×設計数量

(注) 設計単価=標準の市場単価×(1+S<sub>0</sub> or S<sub>1</sub> or S<sub>2</sub>/100)×(K<sub>1</sub>×K<sub>2</sub>……×K<sub>3</sub>)

3. 適用にあたっての留意事項

市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。

(1) 区画線設置作業における供用区間及び未供用区間の取扱いは、下表のとおりとする。

表3.1

区分	工事種別
供用区間	維持修繕工事：維持修繕工事に伴う区画線工事
	現道拡幅工事等：現道拡幅工事に伴う区画線工事
	交通安全工事(1種)：交差点改良、停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事
	交通安全工事(2種)：現道の区画線の補修工事
未供用区間	バイパス工事等：バイパス新設など未供用区間の区画線工事

- (2) 非リップ式(溶融式)における横断線はセブラを適用する。  
(3) 歩道部に区画線を設置する場合、区画線工と規格・仕様が同じであれば、適用出来る。  
(4) 随時契約による調整を行う追加工事の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.7 加算率・補正係数の数値

区	分	記号	高視認性区画線設置				高視認性 区画線消去 (削取り式)
			リップ式		非リップ式	貼付式	
			溶融式	2液反応式	溶融式		
加算率	施工規模	S <sub>0</sub>	5100m以上 0%	500m以上 0%	4100m以上 0%	500m以上 0%	—
		S <sub>1</sub>	100m以上 500m未満 45%(100m未満)一式 価格適用につき、加算率は適用しない	100m以上 500m未満 15%	100m以上 500m未満 45%(100m未満)一式 価格適用につき、加算率は適用しない	100m以上 500m未満 5%	—
		S <sub>2</sub>	100m未満 25%	100m未満 25%	100m未満 25%	100m未満 10%	—
補正係数	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	1.15	1.15	1.15	1.05	—
	夜間作業	K <sub>2</sub>	1.10	1.10	1.10	1.05	1.35
	未供用区間の場合	K <sub>3</sub>	0.90	0.90	0.90	1.00	—

(注) 1. 施工規模加算率 (S<sub>1</sub>) 又は (S<sub>2</sub>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K<sub>1</sub>) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。なお、リップ式(溶融式)、非リップ式(溶融式)で一式価格を適用する場合も、時間的制約を受ける場合の補正係数 (K<sub>1</sub>) は適用しない。  
2. 施工規模は、リップ式(溶融式)、リップ式(2液反応式)、非リップ式(溶融式)、貼付式のそれぞれ1工事の全体数量で判定する。  
3. リップ式(溶融式)、非リップ式(溶融式)で一式価格を適用する場合、未供用区間の場合の補正係数 (K<sub>3</sub>) は、適用しない。

2-4 直接工事費の算出

直接工事費=設計単価(注)×設計数量

(注) 設計単価=標準の市場単価×(1+S<sub>0</sub> or S<sub>1</sub> or S<sub>2</sub>/100)×(K<sub>1</sub>×K<sub>2</sub>……×K<sub>3</sub>)

<標準施工規模に満たない場合>

(注) 設計単価=一式価格×(K<sub>2</sub>)

③高視認性  
区画線工  
VI-2-③-3

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1 一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

4. 施工単価入力基準表

(1) 高視認性区画線設置

施工歩掛コード	WB810310	施工単位	m		
施工区分	入 力 条 件				
	J1	J2	J3	J4	J5
各種区分	施工方法規格・仕様	施工規模加算	時間的制約を受ける場合の補正	夜間作業の補正	未供用区間の場合の補正
	[表4.1]	[表4.2]	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有

(注) J2条件で②又は③を選択した場合は、J3条件は①で固定される。

表4.1 施工方法・規格仕様区分

施工方法	規格・仕様		単位	番号	
リップ式(溶融式)	実線	白線・黄線	15cm	m	①
			20cm	m	②
			30cm	m	③
リップ式(2液反応式)	実線	白線・黄線	15cm	m	④
			20cm	m	⑤
			30cm	m	⑥
非リップ式(溶融式)	実線 ゼブラ	白線・黄線	15cm	m	⑦
			20cm	m	⑧
			30cm	m	⑨
			45cm	m	⑩
貼付式	-	白線・黄線	15cm換算	m	⑪

表4.2 施工規模加算

施工規模	番号
500m以上	①
100m以上500m未満	②
100m未満	③

③高視認性区画線工 VI-2-③-4

施工歩掛コード	WB810310	施工単位	m			
施工区分	入 力 条 件					
	J1	J2	J3	J4	J5	J6
各種区分	施工方法規格・仕様区分	施工規模加算	時間的制約を受ける場合の補正	夜間作業の補正	未供用区間の場合の補正	
	①リップ式(溶融式) ②リップ式(2液反応式) ③非リップ式(溶融式) ④貼付式	[表4.1]	[表4.2]	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有

(注) 1. J1条件で①を選択した場合は、J2条件で④～⑩を選択することが出来ない。  
 2. J1条件で②を選択した場合は、J2条件で①～③、⑦～⑩を選択することが出来ない。  
 3. J1条件で③を選択した場合は、J2条件で①～③、⑩を選択することが出来ない。  
 4. J1条件で④を選択した場合は、J2条件で①～⑩を選択することが出来ない。  
 5. J1条件で①及び③を選択した場合は、J3条件は②で固定される。  
 6. J1条件で②及び④を選択した場合は、J3条件で③を選択することが出来ない。  
 7. J1条件で②及び④、J3条件で②及び④を選択した場合は、J4条件は①で固定される。  
 8. 施工方法がリップ式(溶融式)・非リップ式(溶融式)で施工量が100m未満の場合は、高視認性区画線設置(リップ式(溶融式)・非リップ式(溶融式)100m未満)(WB810330)により別途計上する。

表4.1 規格・仕様区分

施工方法	規格・仕様		番号	
リップ式(溶融式)	実線	白線・黄線	15cm	①
			20cm	②
			30cm	③
リップ式(2液反応式)	実線	白線・黄線	15cm	④
			20cm	⑤
			30cm	⑥
非リップ式(溶融式)	実線 ゼブラ	白線・黄線	15cm	⑦
			20cm	⑧
			30cm	⑨
			45cm	⑩
貼付式	-	白線・黄線	15cm換算	⑪

表4.2 施工規模加算

施工規模	入力番号
500m以上	①
100m以上500m未満	②
100m以上	③
100m未満	④

(2) 高視認性区画線設置(リップ式(溶融式)・非リップ式(溶融式)100m未満)

施工歩掛コード	WB810330	施工単位	式
施工区分	入 力 条 件		
	J1	J2	
各種区分	施工方法規格・仕様区分	時間的制約を受ける場合の補正	
	①リップ式(溶融式) ②非リップ式(溶融式)	①無 ②有	

(注) 施工方法がリップ式(溶融式)・非リップ式(溶融式)で施工量が100m以上の場合は、高視認性区画線設置(WB810310)により別途計上する。

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1 一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁	改定前	改定後(平成29年7月30日以降適用)
⑤防護柵設置工 VI-2-⑤-24	<p>⑤-3 防護柵設置工(横断・転落防止柵)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、市場単価方式による、柵高70cm以上125cm以下の防護柵設置工(横断・転落防止柵)に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用出来る範囲 (1) 新設・更新、撤去工事。 (2) 部材設置、部材撤去工事。</p> <p>1-2 市場単価が適用出来ない範囲 (1) 土木工事標準積算基準書等により別途積算するもの。 1) 事故後の復旧工事(設置・撤去)。 (2) 特別調査等別途考慮するもの。 1) 防護柵(P種)[横断・転落防止柵]以外の製品の場合。 2) 高さが125cm超の場合。 3) 門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。 4) アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。 5) 階段部、法面に設置する場合。 6) 特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合。 7) その他、規格・仕様等が適合せず市場単価が適用出来ない場合。</p>	<p>1. 適用範囲 本資料は、市場単価方式による、柵高70cm以上125cm以下の防護柵設置工(横断・転落防止柵)に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用出来る範囲 (1) 新設・更新、撤去工事。 (2) 部材設置、部材撤去工事。</p> <p>1-2 市場単価が適用出来ない範囲 (1) 土木工事標準積算基準書等により別途積算するもの。 1) 事故後の復旧工事(設置・撤去)。 (2) 特別調査等別途考慮するもの。 1) 防護柵(P種)[横断・転落防止柵]以外の製品の場合。 2) 高さが125cm超の場合。 3) 門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。 4) アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。 5) 勾配2割未満(1:2.0未満)の階段部、法面に設置する場合。 6) <u>離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合、特殊地域において労務費の補正が適用される工事の場合。</u> 7) その他、規格・仕様等が適合せず市場単価が適用出来ない場合。</p>

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1 一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製作 会社名	伸縮装置 名称	伸縮装置 型式	【用途関係】			【構造関係】						伸縮装置 主要 仕様	
			歩道 区分	歩道 幅	歩道 向き	道路 断面 形式	伸縮 装置 長さ (mm)	非 対称 伸縮 装置 長さ (kg/m)	※ 本 体 重量 (kg/1.8m)	分 離 後 の 伸 縮 機 能	ボ ルト 後 締 め 具 の 有 無		本 体 の 接 合 部 の 有 無
ア ー ケ ン ニ シ ン ト 建 設	エースジョイント	B-50.80.120.50R.70R	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50~120	14.9~15.2	52.0~180.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		MP-35.50-I	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	35~50	9.4	39.1~99.6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		MP-60.70.80.100.120.135-I	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~135	9.4	54.0~86.7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
橋梁 カガキ	RMSジョイント	RMS II-20.35.50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~50	6.24	65.70~89.1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新導板付
		RMA-60.80.110.150	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~160	12.73~14.38	57.6~199.74	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	S-Aジョイント	RMA-60N.80N.110N.150N	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~160	12.73~14.38	61.20~174.96	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	二重止水構造付き 新導板付
		SP-60.80.110.150RMA	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~160	12.85~14.38	81.36~181.92	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
シ ョ ー ン ト 建 設	S-Aジョイント	TR-50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50	1.99	13.86	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
		SS-20V.30V	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~30	6.2	55.0~66.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	STジョイント	SS-40V	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40	6.2	67.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
		ST-20N.30N.40N.50N.60N.80N	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~80	6.2~9.4	54.2~156.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	グ ラ イ ン グ ジョ イ ン ト	ST-80G	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	80	9.4	162.3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新導板付き
		SLH-20.30.40.50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~50	6.2	140.5~196.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	ス マ ー ト ジョ イ ン ト	SMI-20.30.50.70.100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~100	6.2	61.1~129.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	Y ン ト	YH	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	6.2	31.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉛直伸縮量20mm
	SS- <del>V</del> ジョイント(新導板付)	SS-V.35-20V.30V	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~30	6.2	37.8~99.3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	AL ジョ イ ン ト	ALJ-20.30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~30	4.0	42.3~44.8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	SR H ジョ イ ン ト	SRH-40	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40	4.0	49.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	SRH-60.80	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~80	4.0	53.8~60.1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃	

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製作 会社名	伸縮装置 名称	伸縮装置 型式	【用途関係】			【構造関係】						伸縮装置 主要 仕様	
			歩道 区分	歩道 幅	歩道 向き	道路 断面 形式	伸縮 装置 長さ (mm)	非 対称 伸縮 装置 長さ (kg/m)	※ 本 体 重量 (kg/1.8m)	分 離 後 の 伸 縮 機 能	ボ ルト 後 締 め 具 の 有 無		本 体 の 接 合 部 の 有 無
ア ー ケ ン ニ シ ン ト 建 設	エースジョイント	B-50.80.120.50R.70R	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50~120	14.9~15.2	52.0~180.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		MP-35.50-I	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	35~50	9.4	39.1~99.6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		MP-60.70.80.100.120.135-I	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~135	9.4	54.0~86.7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
橋梁 カガキ	RMSジョイント	RMS II-20.35.50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~50	6.24	65.70~89.1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新導板付
		RMA-60.80.110.150	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~160	12.73~14.38	57.6~199.74	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	S-Aジョイント	RMA-60N.80N.110N.150N	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~160	12.73~14.38	61.20~174.96	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	二重止水構造付き 新導板付
		SP-60.80.110.150RMA	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~160	12.85~14.38	81.36~181.92	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
シ ョ ー ン ト 建 設	S-Aジョイント	TR-50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	50	1.99	13.86	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
		SS-20V.30V	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~30	6.2	55.0~66.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	STジョイント	SS-40V	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40	6.2	67.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
		ST-20N.30N.40N.50N.60N.80N	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~80	6.2~9.4	54.2~156.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	グ ラ イ ン グ ジョ イ ン ト	ST-80G	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	80	9.4	162.3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新導板付き
		SLH-20.30.40.50	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~50	6.2	140.5~196.0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	ス マ ー ト ジョ イ ン ト	SMI-20.30.50.70.100	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~100	6.2	61.1~129.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	Y ン ト	YH	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	6.2	31.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	鉛直伸縮量20mm
	SS- <del>V</del> ジョイント(新導板付)	SS-V.35-20V.30V	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~30	6.2	37.8~99.3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	AL ジョ イ ン ト	ALJ-20.30	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20~30	4.0	42.3~44.8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	SR H ジョ イ ン ト	SRH-40	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40	4.0	49.5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃
	SRH-60.80	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	60~80	4.0	53.8~60.1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	〃	

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

9 橋梁付属物工  
VI-2-⑨-6

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1 一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

◎橋梁付属物工  
VI-2-◎-7

<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製作者 会社名	伸縮装置		【用途関係】				【構造関係】						備考
	名称	型式	歩道区分	歩道専用	歩道・車道兼用	車道専用	伸縮橋	補強橋	※	分類	形式	本体部接合	
歩道専用			歩道専用	歩道・車道兼用	車道専用	伸縮	補強	本体重量 (kg/m)	伸縮部重量 (kg/1.8m)				型式
中外 道	アイズライドジョイント	アイズライドジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スーパーガイドジョイント	スーパーガイドジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スーパーガイドジョイント	スーパーガイドジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スリットジョイント	スリットジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	メタルジョイント	メタルジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	パナジョイント	パナジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OCスチールジョイント	OCスチールジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	MPSジョイント	MPSジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	MPSジョイント	MPSジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リブレジョイント	リブレジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PCスチールジョイント	PCスチールジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鉄 産 業	メタルジョイント	メタルジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製作者 会社名	伸縮装置		【用途関係】				【構造関係】						備考
	名称	型式	歩道区分	歩道専用	歩道・車道兼用	車道専用	伸縮橋	補強橋	※	分類	形式	本体部接合	
歩道専用			歩道専用	歩道・車道兼用	車道専用	伸縮	補強	本体重量 (kg/m)	伸縮部重量 (kg/1.8m)				型式
中 外 道	アイズライドジョイント	アイズライドジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スーパーガイドジョイント	スーパーガイドジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スーパーガイドジョイント	スーパーガイドジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スリットジョイント	スリットジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	メタルジョイント	メタルジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	パナジョイント	パナジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OCスチールジョイント	OCスチールジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	MPSジョイント	MPSジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	MPSジョイント	MPSジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リブレジョイント	リブレジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PCスチールジョイント	PCスチールジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鉄 産 業	メタルジョイント	メタルジョイント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。



平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1 一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

⑨橋梁付属物工  
VI-2-⑨-8

<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製 作 会 社 名	伸 縮 装 置	名 称	型 番	【 用 途 区 分 】				【 橋 梁 用 伸 縮 継 手 装 置 】							備 考						
				歩 車 歩 車 歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車		歩 車 歩 車	【 伸 縮 継 手 装 置 】				
																	伸 縮 量 (mm)	補 償 体 積 (kg/m)	注 意 事 項	分 類	形 式
橋 梁 用 伸 縮 継 手 装 置	プロジョイント	N型	20,25,35,50,60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	橋梁板付き
		C型	20,25,35,50,60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	プロジョイント (側グレーダー用)	N型	20,25,35,50,60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	橋梁板付き
		S型	20,40,50,100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
メ ン タ	Eジョイント	Eジョイント		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#
		トランスフレク্সジョイント	TF-S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	C/Fジョイント	300,500,700	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	橋梁板付き
		305,505,705	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
A/Fジョイント	200,400,600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	橋梁板付き	
	205,405,605	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
橋 梁 用 伸 縮 継 手 装 置	ダイヤブリージョイント	K-60T		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	別注 橋梁板別注 船底伸縮量20m
		K-60T,80T		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日 本 橋 梁	マクラージョイント	K-50,80,110		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	別注 橋梁板別注 船底伸縮量30~40m
		B-80		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製 作 会 社 名	伸 縮 装 置	名 称	型 番	【 用 途 区 分 】				【 橋 梁 用 伸 縮 継 手 装 置 】							備 考						
				歩 車 歩 車 歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車	歩 車 歩 車		歩 車 歩 車	【 伸 縮 継 手 装 置 】				
																	伸 縮 量 (mm)	補 償 体 積 (kg/m)	注 意 事 項	分 類	形 式
橋 梁 用 伸 縮 継 手 装 置	プロジョイント	N型	20,25,35,50,60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	橋梁板付き
		C型	20,25,35,50,60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	プロジョイント (側グレーダー用)	N型	20,25,35,50,60	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	橋梁板付き
		S型	20,40,50,100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
メ ン タ	Eジョイント	Eジョイント		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	#
		トランスフレク্সジョイント	TF-S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	C/Fジョイント	300,500,700	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	橋梁板付き
		305,505,705	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
A/Fジョイント	200,400,600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	橋梁板付き	
	205,405,605	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
橋 梁 用 伸 縮 継 手 装 置	ダイヤブリージョイント	K-60T		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	別注 橋梁板別注 船底伸縮量20m
		K-60T,80T		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
日 本 橋 梁	マクラージョイント	K-50,80,110		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	別注 橋梁板別注 船底伸縮量30~40m
		B-80		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

⑨橋梁付属物工  
VI-2-⑨-10

熟 練 社 名	伸 縮 接 合 名 称 型 号		【用途関係】				【構造関係】										特 種 注 意 事 項
			歩 歩	車 車	仕 仕	送 送	道 道	横 横	縦 縦	伸 伸	横 横	増 増	※	分 分	本 本	特 特	
			歩 歩	車 車	仕 仕	送 送	道 道	横 横	縦 縦	伸 伸	横 横	増 増	※	分 分	本 本	特 特	
			用 用	用 用	有 有	有 有	有 有	有 有	有 有	(mm)	(kg/m)	(kg/1.8m)		型 型	型 型	使 使	
										30~90	3.0	75.0~105.0					
										30~90	3.0	83.0~115.0				防振紙付き	
										30~90	4.0	52.0~59.0					
										30~30	4.0	47.0~49.0					
										35~60	4.0	51.0~61.0					
										30~90	4.0	41.0~46.0					
										80~230	4.0	51.0~83.0					
										20	6.2	28.1				防振紙別注	
										20	6.2	32.8				〃	
										30~50	6.2	52.7~58.3				〃	
										60~100	15.6	79.0~83.3				〃	
										125~175	15.6	100.3~131.0				〃	
										20~400	6.2	63.0~135.7					
										30	6.2	23.0					
										20~35	3.1	33.5~40.3				防振紙別注	
										20	6.2	24.7					
										80	11.0	102.6				防振紙別注 防振紙別注	

熟 練 社 名	伸 縮 接 合 名 称 型 号		【用途関係】				【構造関係】										特 種 注 意 事 項
			歩 歩	車 車	仕 仕	送 送	道 道	横 横	縦 縦	伸 伸	横 横	増 増	※	分 分	本 本	特 特	
			歩 歩	車 車	仕 仕	送 送	道 道	横 横	縦 縦	伸 伸	横 横	増 増	※	分 分	本 本	特 特	
			用 用	用 用	有 有	有 有	有 有	有 有	有 有	(mm)	(kg/m)	(kg/1.8m)		型 型	型 型	使 使	
										20~90	3.0	75.0~105.0					
										20~90	3.0	83.0~115.0				防振紙付き	
										20~50	4.0	54.0~59.0					
										20~30	4.0	47.0~49.0					
										<del>20~50</del>	<del>4.0</del>	<del>54.0~59.0</del>					
										<del>20~50</del>	<del>4.0</del>	<del>51.0~61.0</del>					
										20~50	4.0	41.0~46.0					
										30~130	4.0	51.0~83.0					
										20	6.2	28.1				防振紙別注	
										20	6.2	32.8				〃	
										30~50	6.2	52.7~58.3				〃	
										60~100	15.6	79.0~83.3				〃	
										125~175	15.6	100.3~131.0				〃	
										20~400	6.2	63.0~135.7					
										30	6.2	23.0					
										20~35	3.1	33.5~40.3				防振紙別注	
										20	6.2	24.7					
										80	11.0	102.6				防振紙別注 防振紙別注	

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

①薄層カラー舗装工  
VI-2-①-2

2-3 加算率・補正係数

(1) 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様		適用基準	記号	備考
加算率	施工規模	標準	S <sub>0</sub>	全体数量
		1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S <sub>1</sub> S <sub>2</sub>	
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>1</sub>	対象数量
	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>2</sub>	
	階段ステップ部(踊り場を含む)	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>3</sub>	
	既設アスファルト舗装面の施工	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>4</sub>	
	コンクリート舗装面の施工	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>5</sub>	

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.3 加算率・補正係数の数値

区分	記号	樹脂モルタル舗装工	景観透水性舗装工	樹脂系すべり止め舗装工
			(100㎡以上)	(100㎡以上)
加算率	S <sub>0</sub>	0%	0%	0%
	S <sub>1</sub>	(50㎡以上～100㎡未満) 5%	(50㎡以上～100㎡未満) 5%	(100㎡以上～200㎡未満) 5%
	S <sub>2</sub>	(50㎡未満) 20%	(50㎡未満) 20%	(100㎡未満) 20%
補正係数	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	1.05	1.05
	夜間作業	K <sub>2</sub>	1.10	1.10
	階段ステップ部	K <sub>3</sub>	1.25	—
	既設アスファルト舗装面の施工	K <sub>4</sub>	—	0.90
	コンクリート舗装面の施工	K <sub>5</sub>	—	1.10

- (注) 1. 施工規模加算率(S<sub>1</sub>)又は(S<sub>2</sub>)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K<sub>1</sub>)が重複する場合は、施工規模加算率のみ対象とする。  
 2. 階段ステップ部の補正を行った場合は、施工規模加算率は適用しない。  
 3. 既設アスファルト舗装面の施工(K<sub>4</sub>)の補正は、既設アスファルト面に薄層カラー舗装を施工する場合であり、切削オーバーレイや打ち換え等、舗装面が施工直後の場合、補正を行わない。

2-4 直接工事費の算出

直接工事費=設計単価(注)×設計数量

(注)設計単価=標準の市場単価×(1+S<sub>0</sub> or S<sub>1</sub> or S<sub>2</sub>/100)×(K<sub>1</sub>×K<sub>2</sub>×……×K<sub>n</sub>)

①薄層カラー舗装工  
VI-2-①-3

2-3 加算率・補正係数

(1) 加算率・補正係数の適用基準

規格・仕様		適用基準	記号	備考
加算率	施工規模	標準	S <sub>0</sub>	全体数量
		1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S <sub>1</sub>	
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>1</sub>	対象数量
	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>2</sub>	
	階段ステップ部(踊り場を含む)	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>3</sub>	
	既設アスファルト舗装面の施工	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>4</sub>	
	コンクリート舗装面の施工	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K <sub>5</sub>	

(2) 加算率・補正係数の数値

表2.3 加算率・補正係数の数値

区分	記号	樹脂モルタル舗装工	景観透水性舗装工	樹脂系すべり止め舗装工
			(50㎡以上)	(50㎡以上)
加算率	S <sub>0</sub>	0%	0%	0%
	S <sub>1</sub>	(50㎡未満) 20%	(50㎡未満) 20%	(100㎡未満) 20%
	S <sub>2</sub>	(50㎡未満) 20%	(50㎡未満) 20%	(100㎡未満) 20%
補正係数	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	1.05	1.05
	夜間作業	K <sub>2</sub>	1.10	1.10
	階段ステップ部	K <sub>3</sub>	1.25	—
	既設アスファルト舗装面の施工	K <sub>4</sub>	—	0.90
	コンクリート舗装面の施工	K <sub>5</sub>	—	1.10

- (注) 1. 施工規模加算率(S<sub>1</sub>)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K<sub>1</sub>)が重複する場合は、施工規模加算率のみ対象とする。  
 2. 階段ステップ部の補正を行った場合は、施工規模加算率は適用しないが、時間的制約を受ける場合の補正係数(K<sub>1</sub>)は適用可能とする。  
 3. 既設アスファルト舗装面の施工(K<sub>4</sub>)の補正は、既設アスファルト面に薄層カラー舗装を施工する場合であり、切削オーバーレイや打ち換え等、舗装面が施工直後の場合、補正を行わない。

2-4 直接工事費の算出

直接工事費=設計単価(注)×設計数量

(注)設計単価=標準の市場単価×(1+S<sub>0</sub> or S<sub>1</sub>/100)×(K<sub>1</sub>×K<sub>2</sub>×……×K<sub>n</sub>)

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁	改定前	改定後(平成29年7月30日以降適用)																																																																																				
①薄層カラー舗装工 VI-2-⑪-5	<p>4. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 樹脂モルタル舗装工・景観透水性舗装工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB812010</td> <td>施工単位</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="6">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td>規格・仕様</td> <td>階 段 ステップ部</td> <td>施工規模</td> <td>時間的制約を 受ける場合の 補 正</td> <td>夜間作業の 補 正</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(表4.1)</td> <td>(表4.2)</td> <td>①無 ②有</td> <td>(表4.3)</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 2条件で④、⑤を選択することは出来ない。                  2. J 1条件で②を選択した場合は、J 2条件で①～③を選択することは出来ない。                  3. J 1条件で②を選択した場合は、J 3条件は選択する必要はない。                  4. J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は①で固定される。                  5. J 4条件で②、③を選択した場合は、J 5条件は①で固定される。</p> <p>表4.3 施工規模</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 規 模</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>100㎡以上(標準)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>50㎡以上100㎡未満</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>50㎡未満</td> <td>③</td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB812010	施工単位	㎡	施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	施工区分	規格・仕様	階 段 ステップ部	施工規模	時間的制約を 受ける場合の 補 正	夜間作業の 補 正		(表4.1)	(表4.2)	①無 ②有	(表4.3)	①無 ②有	①無 ②有	施 工 規 模	入力番号	100㎡以上(標準)	①	50㎡以上100㎡未満	②	50㎡未満	③	<p>4. 施工単価入力基準表</p> <p>(1) 樹脂モルタル舗装工・景観透水性舗装工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB812010</td> <td>施工単位</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="6">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td>規格・仕様</td> <td>階 段 ステップ部</td> <td>施工規模</td> <td>時間的制約を 受ける場合の 補 正</td> <td>夜間作業の 補 正</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(表4.1)</td> <td>(表4.2)</td> <td>①無 ②有</td> <td>(表4.3)</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 2条件で④、⑤を選択することは出来ない。                  2. J 1条件で②を選択した場合は、J 2条件で①～③を選択することは出来ない。                  3. J 1条件で②を選択した場合は、J 3条件は選択する必要はない。                  4. J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は①で固定される。                  5. J 4条件で②を選択した場合は、J 5条件は①で固定される。</p> <p>表4.3 施工規模</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 規 模</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>50㎡以上(標準)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>50㎡未満</td> <td>②</td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB812010	施工単位	㎡	施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	施工区分	規格・仕様	階 段 ステップ部	施工規模	時間的制約を 受ける場合の 補 正	夜間作業の 補 正		(表4.1)	(表4.2)	①無 ②有	(表4.3)	①無 ②有	①無 ②有	施 工 規 模	入力番号	50㎡以上(標準)	①	50㎡未満	②								
施工歩掛コード	WB812010	施工単位	㎡																																																																																			
施工区分	入 力 条 件																																																																																					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																
	施工区分	規格・仕様	階 段 ステップ部	施工規模	時間的制約を 受ける場合の 補 正	夜間作業の 補 正																																																																																
	(表4.1)	(表4.2)	①無 ②有	(表4.3)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																
施 工 規 模	入力番号																																																																																					
100㎡以上(標準)	①																																																																																					
50㎡以上100㎡未満	②																																																																																					
50㎡未満	③																																																																																					
施工歩掛コード	WB812010	施工単位	㎡																																																																																			
施工区分	入 力 条 件																																																																																					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																
	施工区分	規格・仕様	階 段 ステップ部	施工規模	時間的制約を 受ける場合の 補 正	夜間作業の 補 正																																																																																
	(表4.1)	(表4.2)	①無 ②有	(表4.3)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																
施 工 規 模	入力番号																																																																																					
50㎡以上(標準)	①																																																																																					
50㎡未満	②																																																																																					
①薄層カラー舗装工 VI-2-⑪-6	<p>(2) 樹脂系すべり止め舗装工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB812020</td> <td>施工単位</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="7">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td>規格・仕様</td> <td>施工規模</td> <td>時間的制約を 受ける場合の 補 正</td> <td>夜間作業 の補正</td> <td>既設アス ファルト 舗装面の 施工</td> <td>コンクリ ート舗装 面の施工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①車道(ETC レーン含む) ②歩道(路側 帯スクール ゾーン含む) (表4.4)</td> <td>(表4.5)</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 2条件で⑯、⑳を選択することは出来ない。                  2. J 1条件で②を選択した場合は、J 2条件で⑰、⑱以外を選択することは出来ない。                  3. J 2条件で②、④、⑥、⑧、⑩、⑫、⑭、⑯、⑰、⑱を選択した場合は、J 7条件は①で固定される。                  4. J 3条件で②、③を選択した場合は、J 4条件は①で固定される。</p> <p>表4.5 施工規模</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 規 模</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>200㎡以上(標準)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>100㎡以上200㎡未満</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>100㎡未満</td> <td>③</td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB812020	施工単位	㎡	施工区分	入 力 条 件							各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	施工区分	規格・仕様	施工規模	時間的制約を 受ける場合の 補 正	夜間作業 の補正	既設アス ファルト 舗装面の 施工	コンクリ ート舗装 面の施工		①車道(ETC レーン含む) ②歩道(路側 帯スクール ゾーン含む) (表4.4)	(表4.5)	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	施 工 規 模	入力番号	200㎡以上(標準)	①	100㎡以上200㎡未満	②	100㎡未満	③	<p>(2) 樹脂系すべり止め舗装工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB812020</td> <td>施工単位</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="7">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> <td>J 7</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td>規格・仕様</td> <td>施工規模</td> <td>時間的制約を 受ける場合の 補 正</td> <td>夜間作業 の補正</td> <td>既設アス ファルト 舗装面の 施工</td> <td>コンクリ ート舗装 面の施工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①車道(ETC レーン含む) ②歩道(路側 帯スクール ゾーン含む) (表4.4)</td> <td>(表4.5)</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 2条件で⑯、⑳を選択することは出来ない。                  2. J 1条件で②を選択した場合は、J 2条件で⑰、⑱以外を選択することは出来ない。                  3. J 2条件で②、④、⑥、⑧、⑩、⑫、⑭、⑯、⑰、⑱を選択した場合は、J 7条件は①で固定される。                  4. J 3条件で②を選択した場合は、J 4条件は①で固定される。</p> <p>表4.5 施工規模</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 規 模</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>100㎡以上(標準)</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>100㎡未満</td> <td>②</td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB812020	施工単位	㎡	施工区分	入 力 条 件							各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	施工区分	規格・仕様	施工規模	時間的制約を 受ける場合の 補 正	夜間作業 の補正	既設アス ファルト 舗装面の 施工	コンクリ ート舗装 面の施工		①車道(ETC レーン含む) ②歩道(路側 帯スクール ゾーン含む) (表4.4)	(表4.5)	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	施 工 規 模	入力番号	100㎡以上(標準)	①	100㎡未満	②
施工歩掛コード	WB812020	施工単位	㎡																																																																																			
施工区分	入 力 条 件																																																																																					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7																																																																															
	施工区分	規格・仕様	施工規模	時間的制約を 受ける場合の 補 正	夜間作業 の補正	既設アス ファルト 舗装面の 施工	コンクリ ート舗装 面の施工																																																																															
	①車道(ETC レーン含む) ②歩道(路側 帯スクール ゾーン含む) (表4.4)	(表4.5)	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有																																																																															
施 工 規 模	入力番号																																																																																					
200㎡以上(標準)	①																																																																																					
100㎡以上200㎡未満	②																																																																																					
100㎡未満	③																																																																																					
施工歩掛コード	WB812020	施工単位	㎡																																																																																			
施工区分	入 力 条 件																																																																																					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7																																																																															
	施工区分	規格・仕様	施工規模	時間的制約を 受ける場合の 補 正	夜間作業 の補正	既設アス ファルト 舗装面の 施工	コンクリ ート舗装 面の施工																																																																															
	①車道(ETC レーン含む) ②歩道(路側 帯スクール ゾーン含む) (表4.4)	(表4.5)	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有	①無 ②有																																																																															
施 工 規 模	入力番号																																																																																					
100㎡以上(標準)	①																																																																																					
100㎡未満	②																																																																																					
①薄層カラー舗装工 VI-2-⑪-6																																																																																						

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

⑫道路標識設置工  
VI-2-⑫-4

表2.3 標識柱設置(片持式)

区 分		規 格 ・ 仕 様		単 位
標識柱 設 置 片持式	《材料費》	メッキ品	アンカーボルト含まず	kg
	《設置手間》 基礎別途計上	1基当りの総質量	400kg未満	基
			400kg以上	基

表2.4 標識柱設置(門型式)

区 分		規 格 ・ 仕 様		単 位
標識柱 設 置 門型式	《材料費》	メッキ品	アンカーボルト含まず	kg
	《設置手間》 基礎別途計上	1スパンの長さ	10m未満	基
			10m以上20m未満	基
20m以上			基	

表2.3 標識柱設置(片持式)

区 分		規 格 ・ 仕 様		単 位
標識柱 設 置 片持式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず	kg
	《設置手間》 基礎別途計上	1基当りの総質量	400kg未満	基
			400kg以上	基

表2.4 標識柱設置(門型式)

区 分		規 格 ・ 仕 様		単 位
標識柱 設 置 門型式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず	kg
	《設置手間》 基礎別途計上	1スパンの長さ	10m未満	基
			10m以上20m未満	基
20m以上			基	

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁	改定前	改定後(平成29年7月30日以降適用)																																																																		
⑫道路標識設置工 VI-2-⑫-9	<p>(2) 標識柱設置(片持式)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB812120</td> <td>施工単位</td> <td>基</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="6">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>柱の質量 区分</td> <td>柱材料費の 計上の有無</td> <td>柱1基当り 質量</td> <td>施工規模 加算</td> <td>時間的制約 を受ける 場合の補正</td> <td>夜間作業の 補正</td> </tr> <tr> <td>(表4.4)</td> <td>①有 ②無</td> <td>(kg/基) (実数入力)</td> <td>①3基以上 ②2基 ③1基</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 材料費については、管理費区分〔5〕(一般管理費のみ対象)を設定している。                  2. 標識の移設等で材料費を計上しない場合は、J2条件で②を選択すること。                  3. J2条件で②を選択した場合は、J3条件は入力する必要はない。                  4. J4条件で②、③を選択した場合は、J5条件は①で固定される。</p>	施工歩掛コード	WB812120	施工単位	基				施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	柱の質量 区分	柱材料費の 計上の有無	柱1基当り 質量	施工規模 加算	時間的制約 を受ける 場合の補正	夜間作業の 補正	(表4.4)	①有 ②無	(kg/基) (実数入力)	①3基以上 ②2基 ③1基	①無 ②有	①無 ②有	<p>(2) 標識柱設置(片持式)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB812120</td> <td>施工単位</td> <td>基</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="6">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各 種</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> <td>J 6</td> </tr> <tr> <td>柱の質量 区分</td> <td>柱材料の 規格</td> <td>柱1基当り 質量</td> <td>施工規模 加算</td> <td>時間的制約 を受ける 場合の補正</td> <td>夜間作業の 補正</td> </tr> <tr> <td>(表4.4)</td> <td>(表4.5)</td> <td>(kg/基) (実数入力)</td> <td>①3基以上 ②2基 ③1基</td> <td>①無 ②有</td> <td>①無 ②有</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 材料費については、管理費区分〔5〕(一般管理費のみ対象)を設定している。                  2. 標識の移設等で材料費を計上しない場合は、J2条件で⑦を選択すること。                  3. J2条件で⑥を選択した場合は、道路標識柱(Y-1171001)[円/t]を単価登録すること。                  4. J2条件で⑦を選択した場合は、J3条件は入力する必要はない。                  5. J4条件で②、③を選択した場合は、J5条件は①で固定される。</p>	施工歩掛コード	WB812120	施工単位	基				施工区分	入 力 条 件						各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	柱の質量 区分	柱材料の 規格	柱1基当り 質量	施工規模 加算	時間的制約 を受ける 場合の補正	夜間作業の 補正	(表4.4)	(表4.5)	(kg/基) (実数入力)	①3基以上 ②2基 ③1基	①無 ②有	①無 ②有
施工歩掛コード	WB812120	施工単位	基																																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																																			
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																														
	柱の質量 区分	柱材料費の 計上の有無	柱1基当り 質量	施工規模 加算	時間的制約 を受ける 場合の補正	夜間作業の 補正																																																														
	(表4.4)	①有 ②無	(kg/基) (実数入力)	①3基以上 ②2基 ③1基	①無 ②有	①無 ②有																																																														
施工歩掛コード	WB812120	施工単位	基																																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																																			
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																														
	柱の質量 区分	柱材料の 規格	柱1基当り 質量	施工規模 加算	時間的制約 を受ける 場合の補正	夜間作業の 補正																																																														
	(表4.4)	(表4.5)	(kg/基) (実数入力)	①3基以上 ②2基 ③1基	①無 ②有	①無 ②有																																																														
⑫道路標識設置工 VI-2-⑫-9		<p>表4.5 柱材料の規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>柱材料の規格</th> <th>番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>亜鉛メッキ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>下地亜鉛メッキ+ポリウレタン樹脂塗装</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>下地亜鉛メッキ+ステンフレーク塗装</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>下地亜鉛メッキ+フッ素樹脂塗装</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>各種</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>不要</td> <td>⑦</td> </tr> </tbody> </table>	柱材料の規格	番号	亜鉛メッキ	①	下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装	②	下地亜鉛メッキ+ポリウレタン樹脂塗装	③	下地亜鉛メッキ+ステンフレーク塗装	④	下地亜鉛メッキ+フッ素樹脂塗装	⑤	各種	⑥	不要	⑦																																																		
柱材料の規格	番号																																																																			
亜鉛メッキ	①																																																																			
下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装	②																																																																			
下地亜鉛メッキ+ポリウレタン樹脂塗装	③																																																																			
下地亜鉛メッキ+ステンフレーク塗装	④																																																																			
下地亜鉛メッキ+フッ素樹脂塗装	⑤																																																																			
各種	⑥																																																																			
不要	⑦																																																																			

新規追加

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

(3) 標識柱設置(門型式)

施工歩掛コード	WB812130		施工単位	基		
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	柱のスパンの区分 (表4.5)	柱材料費の計上の有無 ①有 ②無	柱1基当り質量 (kg/基) (実数入力)	施工規模加算 ①3基以上 ②2基 ③1基	時間的制約を受ける場合の補正 ①無 ②有	夜間作業の補正 ①無 ②有

(注) 1. 材料費については、管理費区分〔5〕(一般管理費のみ対象)を設定している。

2. 標識の移設等で材料費を計上しない場合は、J 2条件で②を選択すること。
3. J 2条件で②を選択した場合は、J 3条件は入力する必要はない。
4. J 4条件で②, ③を選択した場合は、J 5条件は①で固定される。

表4.5 柱のスパンの区分

柱のスパン	番号
10m未満	①
10m以上 20m未満	②
20m以上	③

(3) 標識柱設置(門型式)

施工歩掛コード	WB812130		施工単位	基		
施工区分	入 力 条 件					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6
	柱のスパンの区分 (表4.5)	柱材料の規格 (表4.5)	柱1基当り質量 (kg/基) (実数入力)	施工規模加算 ①3基以上 ②2基 ③1基	時間的制約を受ける場合の補正 ①無 ②有	夜間作業の補正 ①無 ②有

(注) 1. 材料費については、管理費区分〔5〕(一般管理費のみ対象)を設定している。

2. 標識の移設等で材料費を計上しない場合は、J 2条件で⑦を選択すること。
3. J 2条件で⑥を選択した場合は、道路標識柱(Y-1171001) [円/t]を単価登録すること。
4. J 2条件で⑦を選択した場合は、J 3条件は入力する必要はない。
5. J 4条件で②, ③を選択した場合は、J 5条件は①で固定される。

表4.6 柱のスパンの区分

柱のスパン	番号
10m未満	①
10m以上 20m未満	②
20m以上	③

表4.5新規追加により、以降、表番号を同様に繰り下げ

⑫道路標識設置工  
VI-2-⑫-9

⑫道路標識設置工  
VI-2-⑫-9

平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

⑬道路付属物設置工  
VI-2-⑬-9

(3) 付属物設置工(境界杭設置)

施工歩掛コード	WB812330		施工単位	本	
施工区分	入 力 条 件				
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5
各 種	施工区分	材料費区分	施工規模	夜間作業の 補正	時間制約を 受ける場合 の補正
	①根巻き基礎 有り	①手間+材料費 (標準 [120×120])	①30 本以上 (標準)		
	②根巻き基礎 無し	②手間+材料費 (標準以外)	②10 本以上 30 本未満	①無	①無
		③手間のみ	③10 本未満	②有	②有

- (注) 1. J 2 条件で②を選択した場合は、「境界杭」単価 (Y-1176000) [円/本]を単価登録すること。  
2. J 3 条件で②又は③を選択した場合は、J 5 条件は①で固定される。  
3. 根巻き基礎一体型を用いる場合は、J 1 条件は②を選択すること。

(3) 付属物設置工(境界杭設置)

施工歩掛コード	WB812330		施工単位	本	
施工区分	入 力 条 件				
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5
各 種	施工区分	材料費区分	施工規模	夜間作業の 補正	時間制約を 受ける場合 の補正
	①根巻き基礎 有り	①手間+材料費 (標準 [120×120])	①30 本以上 (標準)		
	②根巻き基礎 無し	②手間+材料費 (標準以外)	②10 本以上 30 本未満	①無	①無
		③手間のみ	③10 本未満	②有	②有

- (注) 1. J 2 条件で②を選択した場合は、境界杭単価 (Y-1176000) [円/本]を単価登録すること。  
2. J 1 条件で①、J 2 条件で①又は②を選択した場合は、根巻きコンクリートブロック (Y-0361002) [円/個]を単価登録すること。  
3. J 3 条件で②又は③を選択した場合は、J 5 条件は①で固定される。  
4. 根巻き基礎一体型を用いる場合は、J 1 条件で②、J 2 条件で②を選択すること。



平成28年度(10月30日以降適用) 積算基準〔1一般土木〕 全国版その1 改定対照表

頁

改定前

改定後(平成29年7月30日以降適用)

①排水構造物工  
VI-2-①-7

(2) 自由勾配側溝

施工歩掛コード	WB812820		施工単位	m		
施工区分	入力条件					
	J1	J2	J3	J4	J5	J6
各種	規格・仕様 (表4.4)	基礎コンクリートの種類 (表4.5)	基礎コンクリート10m当り設計数量 (実数入力) (㎡/10m)	施工規模 ①50m以上(標準) ②50m未満	時間的制約を受ける場合の補正 ①無 ②有	夜間作業の補正 ①無 ②有

J7	J8	J9
基礎砕石施工の有無 ①有 ②無	基礎砕石の種類 (表4.2)	基礎砕石10m当り設計数量 (実数入力) (㎡/10m)

- (注) 1. 側溝単価 (Y-0300000) [円/個] を単価登録すること。  
 2. J2条件において③を選択した場合、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。  
 3. J4条件において②を選択した場合、J5条件は①で固定される。  
 4. J7条件において①を選択した場合のみ、J8・J9条件を入力すること。  
 5. J8条件において⑥を選択した場合、砕石単価 (Y-0241000) [円/㎡] を単価登録すること。  
 6. 底部コンクリートについては、材料費(各種)WB020013にてコンクリート使用総数量[㎡]を別途計上し、生コンクリート㎡当り単価を入力すること。  
 使用総数量[㎡] = 設計数量 × 1.06 (ロス分)  
 7. 基礎コンクリート及び基礎砕石の材料使用量の補正を含む。  
 8. 自由勾配側溝材料が支給品の場合は支給品扱いとして計上する。

表4.5 基礎コンクリートの種類

種類	入力番号
18-8-40 (普通)	①
〃 (高炉)	②
Y-0210000 (各種)	③

VI-2-①-7

(2) 自由勾配側溝

施工歩掛コード	WB812820		施工単位	m		
施工区分	入力条件					
	J1	J2	J3	J4	J5	J6
各種	規格・仕様 (表4.4)	基礎コンクリートの種類 (表4.5)	基礎コンクリート10m当り設計数量 (㎡/10m) (実数入力)	施工規模 ①50m以上(標準) ②50m未満	時間的制約を受ける場合の補正 ①無 ②有	夜間作業の補正 ①無 ②有

J7	J8	J9	J10	J11
基礎砕石施工の有無 ①有 ②無	基礎砕石の種類 (表4.2)	基礎砕石10m当り設計数量 (㎡/10m) (実数入力)	底部コンクリートの種類 (表4.5)	底部コンクリート10m当り設計数量 (㎡/10m) (実数入力)

- (注) 1. 側溝単価 (Y-0300000) [円/個] を単価登録すること。  
 2. J2条件において③を選択した場合、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。  
 3. J4条件において②を選択した場合、J5条件は①で固定される。  
 4. J6条件において②を選択した場合、基礎コンクリート及び底部コンクリートの生コンクリート夜間増額 (Y-0213000) [円/㎡] をそれぞれ単価登録すること。  
 5. J7条件において①を選択した場合のみ、J8・J9条件を入力すること。  
 6. J8条件において⑥を選択した場合、砕石単価 (Y-0241000) [円/㎡] を単価登録すること。  
 7. J10条件において③を選択した場合、生コンクリート単価 (Y-0210000) [円/㎡] を単価登録すること。  
 8. 基礎コンクリート、基礎砕石及び底部コンクリートの材料使用量の補正を含む。  
 9. 自由勾配側溝材料が支給品の場合は支給品扱いとして計上する。

表4.5 基礎及び底部コンクリートの種類

種類	入力番号
18-8-40 (普通)	①
〃 (高炉)	②
Y-0210000 (各種)	③